

ワイヤレスベースステーション（無線通信データ収集機 / 無線中継機） RTR500BC 機能と仕様

データ転送

USB

モニタリング

おんどとり Web Storage,
ローカルPC

警報

測定値オーバー,
センサ異常, 通信エラーほか

警報確認方法

Eメール
専用ソフトウェア

USBケーブルでパソコンに接続し、専用ソフトウェアでワイヤレスデータロガー（子機）の記録データを収集・転送、モニタリング、警報監視を行う無線収集機（親機）です。また、RTR500Bシリーズの無線中継機としてもご利用いただけます。

記録データの自動収集

パソコン上でソフトウェアを常駐させておけば、指定間隔ごとに記録データを自動収集。収集したデータは無償クラウドサービスやFTPサーバに自動転送も可能。

モニタリング・警報機能

パソコン上で現在値とトレンドグラフを表示し、子機ごとに設定された閾値を超えた場合は、パソコン画面に警報通知を表示しメールで通報。警報送信先は4件まで設定可能。

32台×20グループのデータロガーを一括管理

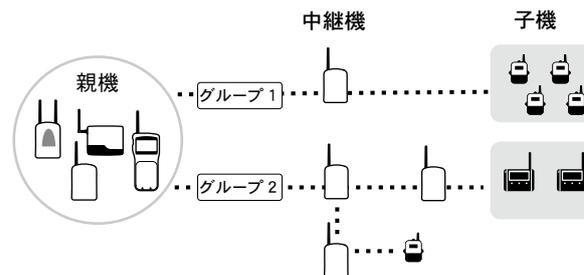
グループごと32台のワイヤレスデータロガー（子機）を登録可能。無線中継機は1グループにつき30台まで設置可能。

※RTR-574/576は1台の登録を2台分としてカウントするため、1グループにつき16台になります。

- この製品は日本での電波法に準じております。無線通信機能は国外ではお使いになれません。
- RTR500Bシリーズなどの通信DLL、現在値/記録データ(XML)のファイルフォーマットを無償で公開します。弊社機器を利用した独自のアプリケーション、システムを作成することができます。

無線通信距離を延長する中継機として

データロガーとの無線通信距離は見通しの良い直線で約150m。無線が届かない場合は、RTR500BCを中継機として追加することで通信距離を延長可。



RTR500BC ワイヤレスベースステーション

RTR500BC	
対応機種	子機 : RTR501B / 502B / 503B / 505B / 507B RTR-501 / 502 / 503 / 507S / 574 / 576 / 505-TC / 505-Pt / 505-V / 505-mA / 505-P Lタイプ, Sタイプ含む RTR-602S / 602L / 602ES / 602EL, RTR-601-110 / 601-130 / 601-E10 / 601-E30 (*1) 中継機 : RTR500BC / RTR-500C
最大登録台数	子機 : 32台 (*2) x 20グループ 中継機 : 30台 x 20グループ
通信インターフェース	特定小電力無線通信 ARIB STD-T67 周波数 : 429MHz 帯 送信出力 : 10 mW 通信距離 : 約 150 m (見通しの良い直線において) Bluetooth 通信 Bluetooth 4.2 (Bluetooth Low Energy) (*3) USB 通信 USB 2.0 (Mini-B コネクタ) 光通信 シリアル通信 (*4)
通信時間	データ吸い上げ時間 無線通信 : データ 16,000 個につき約 2分 15秒 中継機使用時は 1台につき上記時間が加算されます
通信プロトコル (*5)	SMTP (POP before SMTP, SMTP-AUTH (LOGIN / PLAIN / CRAM-MD5) , SMTP over SSL/TLS, STARTTLS), FTP
電源	USB バスパワー, 単 3 アルカリ電池 x 2, AC アダプタ AD-06A1 (*6)
電池寿命 (*7)	中継機の場合 : 約 6 ヶ月 (1日 1回フルデータ吸い上げ / 子機 1台, 中継機 1台の場合)
本体寸法	H 96 mm x W 65.8 mm x D 24.4 mm (アンテナ含まず) アンテナ長 : 55 mm
本体質量	約 65 g
本体動作環境	温度 : -10 ~ 60°C (電池使用時), -30 ~ 60°C (外部電源使用時) 湿度 : 90 %RH 以下 (結露しないこと)
付属品	USB Mini-B 通信ケーブル US-15C, 保証書付取扱説明書 一式

*1: RTR500BCをRTR-600シリーズの親機として使用する場合、別途公開の通信プロトコルを利用してお客様独自のシステムを構築していただく必要があります。

*2: RTR-574 / 576 は1台の登録を2台分としてカウントします。

*3: RTR500BWを親機として使用し、スマートフォンアプリ (T&D 500B Utility) で中継機の設定をする場合に使用します。

*4: 別途公開の通信プロトコルを使用し、お客様ご自身でソフトウェアを作成していただければシリアル通信が可能となります。その場合オプションのシリアル通信ケーブル (TR-07C) が必要です。

*5: ソフトウェア (RTR500BC for Windows) によって実現される機能です。

*6: RTR500BCを中継機として使用する場合は電池またはACアダプタをご用意ください。

*7: 電池寿命は周辺温度、電波環境、通信回数、電池性能などにより異なります。本説明は新しい電池を使用したときの標準的な動作であり、電池寿命を保証するものではありません。

上記仕様は予告なく変更することがあります。